

「神戸新聞 2009年7月28日付」



長く伸びた草が刈り取られ、コウノトリが入りやすい餌場に戻った＝豊岡市城崎町戸島

餌場の環境回復へ

広島のコンサルティング会社

城崎・戸島湿地で草刈り

豊岡市城崎町のハチゴロウの戸島湿地でこのほど、コウノトリの生息環境調査などで同湿地に携わる総合コンサルティング会社「復建調査設計」（本社・広島市）の

社員8人が草刈りを行った。コウノトリが餌を探しに入ることもできないほど伸びていた草を刈り、湿地は餌場としての本来の姿を取り戻した。

湿地整備の調査設計を担当した同社が、CSR（企業の社会的貢献）活動の一環として実施。これまでも湿地周辺の除草などを行っており、今回も約3時間の作業で湿地南側に生えた外来種・キシユウスメノヒエなどを刈り取った。

同社の若宮慎二さん（40）は「まだ一部しかできていないが、コウノトリが餌を取りやすい環境を継続するには、今後も人の手が入ることが必

要と話していた。

（大山伸一郎）